令和７年度　世羅町立せらひがし小学校「研究構想図」

学校教育目標
未来を拓き、たくましく生きる子どもの育成

【甲山中校区】一生懸命はかっこよく、美しいと胸を張って言える児童・生徒の育成
＜育てたい資質・能力＞　【自発性】【コミュニケーション能力】【継続力】

研究主題

「児童自ら学びを深める算数科授業の創造」
～協働的な学びを軸とした個別最適な学びの取組を通して～

研究仮設

数学的な見方・考え方を働かせ、協働的な学びを軸にした個別最適な学びとの行き来する単元学習を計画し、実践すれば、自ら学びを深める子どもが育つだろう。

児童の見取り

1. 本単元に係る児童実態を正確に把握し、単元計画に生かす。（事前）
2. 配慮を要する児童への手立てが有効だったか等をノートやタブレットで確認する。（途中）
3. 育成すべき数学的見方・考え方を身に付けることができているかを確認する。（最終）

単元計画開発

単元全体で	45分間で
第1次【一斉授業】	前半【一斉授業】
第2次【一斉授業】	中盤【個別学習】
第3次【個別学習】	終盤【一斉授業】
第4次【一斉授業】	

上記の構想は１つの案として提示

【個別学習における留意点】
・数学的な活動の時間を十分に確保するため。
・自分の課題に応じた活動を選択させ、挑戦させるため。
・下学年の振り返りを確保するため。
・次時への新たな課題発見を見付けさせるため。